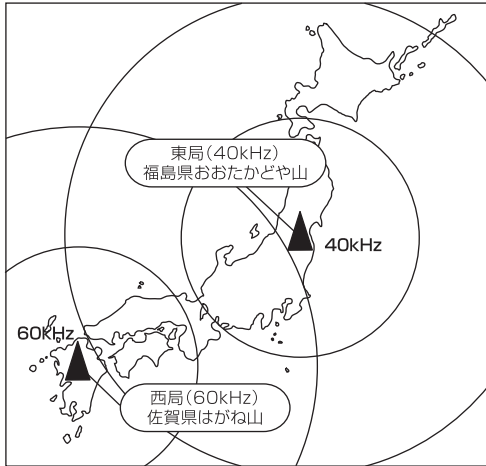


標準電波について

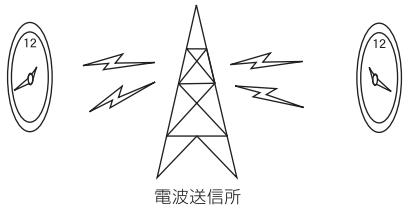
日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、独立行政法人の情報通信研究機構(NICT)によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2ヶ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000Kmとされています。



※気候条件・置き場所・時間帯・地形・建物によっては受信できないことがあります。電波受信の可能地域はあくまでも目安です。図の範囲内でも電波を受信できない場合もあります。

〈正しい電波受信〉

受信が困難な場合は受信条件の良い場所に本機を移動させてください。通常の機能が作動して正しい時刻を表示するようになります。



電波を受信しない場合は、窓際まで行き、本機の正面を電波送信所に向かい合うように置くと、受信しやすくなります。

使用場所について

本機は電波を受信する時計です。以下のような場所では電波を受信しにくくなりますのでご注意ください。



- ビルなどの地下
- 高電線、架線の近く
- 金属製雨戸やブラインドの近く
- 自動車・電車・飛行機などの乗り物の中
- テレビなどの家庭電化製品や、パソコンなどのOA機器の近く
- 工事現場・空港・交通量の多いところなど電波障害の起きるところ
- 金属板の上や山などの電波を遮断するところ
- 朝や夕方時間帯や雨天のとき

下記のような場所では使用しないでください。機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。



振動や衝撃の激しい場所



浴室などの湿気の多い場所



強い磁気のある場所



ホコリの多く発生する場所



温度が40℃以上になる場所



温度が0℃以下になる場所

- 温度が40℃以上になる場所や直射日光の当たる場所、屋外や暖房器具などの熱風や火気に近いところ
- 温度が0℃以下になるところ。プラスチック部品や電池劣化が起こることがあります。
- 塵・ホコリが多いところ。空気中に舞い上がったゴミが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや強い磁気のあるところ。磁力の影響で進みや遅れが生じたり、時計が止まることがあります。
- 浴室などの湿気の多いところ。また、水がかかる場所や加湿器の蒸気が直接当たるようなところ
- 振動のあるところや不安定なところ。
- 工場・台所など多くの油を使用するところ。霧状になった油分が機械の歯車に付着し、時計が止まることがあります。
- ビニール系素材の壁や敷物などの上。壁や敷物および時計を傷めることがあります。

安全上のご注意 -必ずお読みください-

注意 このマークは表示内容と異なった使い方をした時に、人的障害または物的障害のみが発生する可能性があります。
CAU. 想定される内容です。

警告 このマークは表示内容と異なった使い方をした時に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
WAR.

注意 CAU.

- ◆分解・改造はおやめください。
- ◆強い衝撃を与えないでください。
- ◆不安定な場所に設置しないでください。

※落下や転倒により、ケガおよび器物を破損する恐れがあります。

電池のご注意 -正しくお使いいただくために-

※充電電池や、一部の高性能電池は、本機の使用には不向きな場合があります。

注意 CAU.

- ◆電池を使い切った場合は、長時間放置せずに、すぐに新しい電池に交換してください。
- ◆直射日光や高温多湿の場所を避けて保管してください。
- ◆製品により電池を付属して出荷しております。この電池は動作確認用となっております。時計の動作を確認した後は、お早めに新しい電池に交換してください。

警告 WAR.

- ◆電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
- ◆電池を飲み込んだ場合はすぐに医師と相談してください。
- ◆分解や加熱、火に入れるなどしないでください。
- ◆プラス+とマイナスの向きを正しく入れてください。
- ◆ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯、保管しないでください。
- ◆電池から漏れた液が目に入ったり、皮膚や衣服に付いたときは、大量のきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受けてください。失明やケガなどのおそれがあります。

製品仕様

- 時計精度 / 平均月差±30秒以内(常温での使用時)
※電波受信による時刻修正を行わない場合
- 使用温度範囲 / 0℃~+50℃
- 使用電池(時計用) / 単3形 アルカリ乾電池 1個
- 受信電波 / 標準電波JJY
周波数 / 40kHz、60kHz(自動選局)
- 自動受信回数 / 最大7回

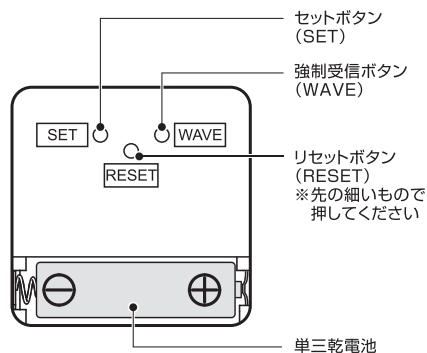
※機種により、3針タイプ(秒針・分針・時針)と2針タイプ(分針・時針)があります。
この取扱説明書の内容は予告なしに変わることがあります。
また、印刷による制限のため本書の図が実際の表示と異なる場合があります。弊社はこの時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任は負いません。
この取扱説明書の製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

商品についてのアフターサービスやお問い合わせは

株式会社インターフォルム 〒650-0041 神戸市中央区新港町5番1号 TEL:078-392-8423 FAX:078-392-8427

時刻設定のしかた

■各部の名称 ※裏面操作部



- ①電池を⊕⊖の表示に合わせて正しく入れる
※逆向きに入れると時計が動きません。
 - ②リセットボタンを押す (※先の細いもので押ししてください)
針が早送りで動き、12時の位置で停止し、電波の受信を開始します。
電波受信中は全てのボタン操作をしないでください。
 - ③受信結果を確認する(最短3分、最長16分後)
※状況や環境により結果までの時間に差が出ます。
確認は必ず16分後にしてください。
電波が受信できた場合、針が早送りで動き出し、現在の時刻を表示します。
- 受信できなかった場合
針はその位置(12時)から動作を開始します。
→ **Ⓐ 電波を受信できない場合**

Ⓐ 電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

夜間は比較的電波の状況が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。また、受信を失敗した場所でも電波状態が良くなった時に自動受信により電波を受信できる場合があります。

●場所を変える

- ①電波の受信しやすい窓際や、送信所になるべく時計の表面、または裏面が向くように設置します。(取扱説明書の日本地図を参照)
- ②強制受信ボタンを約3秒長押しして受信をしてください。

※受信できなかった場合 → **Ⓜ 手動での時刻合わせ**

Ⓜ 手動での時刻合わせ

以下の操作は電波受信中(針の停止中、針の早送り中)には行わないでください。

セットボタンを長押し(約3秒間)すると、針が動き出します。そのまま押し続けて時刻を合わせてください。

※電波受信機能がONの時は、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。→ **自動受信について**

※電波受信機能がOFFの時や、非受信の時はクォーツ時計として動作します。→ **ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作**

自動受信について

電波時計は毎日、最大7回の受信を自動で行います。

受信時刻/2時、3時、6時、10時、14時、18時、22時 各時間帯の16分40秒から受信を行います。

ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作

電波受信機能をOFFにすることで、クォーツ時計としてご使用いただけます。以下の操作は電波受信時(針の停止中、針の早送り中)には行わないでください。

●電波受信機能をOFFにする

- ①リセットボタンを押して20分ほどお待ちください。
- ②強制受信ボタンとセットボタンを同時に長押し(約5秒間)すると、電波受信機能OFFになります。この設定の後は自動受信・強制受信ともに電波受信を行いません。セットボタンを押して時刻を合わせてください。→ **Ⓜ 手動での時刻合わせ**

●電波受信機能をONにする

リセットボタンを押してください。
自動受信を行い、電波の受信に成功すると現在の時刻を表示します。

【強制受信とリセットの違い】

●強制受信ボタン

このボタンを長押し(約3秒間)すると、全ての針が12時の位置に停止し、電波の受信を開始します。電波受信機能がOFFの時は強制受信ボタンを押しても機能しません。場所を移動した時にお使いください。

●リセットボタン

このボタンを押すと、時刻が12時にリセットされ、全ての針が12時の位置に停止し、電波の受信を開始します。電波受信機能がOFFの時は電波受信機能がONになり、受信を開始します。電池を交換した時や誤受信した時にお使いください。

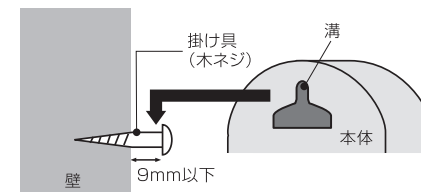
時計の掛け方について

▶ 木の厚い壁、木の柱に掛ける場合

付属の掛け具(木ネジ)をご使用ください。
掛け具(木ネジ)は垂直な壁面からネジの残りが9mm以下になるようにねじ込んで、時計を掛けてください。

▶ 石膏ボード、コンクリート等の壁に掛ける場合

付属の掛け具(木ネジ)は使用しないでください。
壁の材質、構造に合った「3kg」まで耐えられる市販の掛け具(吊り金具など)をご使用ください。



お手入れについて

【プラスチック製の時計の場合】

枠を拭く時は、湿った柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤を布に少量つけて拭いてください。

【木枠・金属枠の時計の場合】

汚れや埃を取る時は、柔らかい布で乾拭きしてください。

※ベンジン・シンナー・アルコール各種、ブラシなどは使用しないでください。変色、変形、傷の原因になります。
※殺虫剤・ハアスプレーなどがかからないようにしてください。変形、変色のおそれがあります。
※お客様が分解しますと修正不可能になる場合やケガのおそれがあり大変危険です。
また、保証の対象外となりますのでご注意ください。